

広次

忠彦 通信

No. 182

2010年7月5日

日本共産党大分市議団

中心市街地活性化のためには 駐輪場は分散して設置を

駐輪場設置には賛成



放置自転車は
なんとかせんと!

大型店の利益第一の出店・撤退は、商店・商店街に甚大な影響を与えています。商店・商店街の発展のための対策は重要です。市街地の駐輪場は、商店街にも、利用者にも歓迎されるものであり、同意できます。

総額6億8652万円の
今回提案の問題点

計画にない事業

「セントポルタビル地下駐輪

場整備事業」は、5月に策定していた「大分市自転車等駐車場整備計画」にもりこまれていません。「関係者から要望を受けたから」と、事業を計画することは、市長のいう「公正、公平な行政」とは相容れないと思います。

利用が見込めるか

セントポルタビルそばの若草公園駐輪場は40%～50%台の利用率です。このすくそばに、1000台も収容できる駐輪場を建設しても、それにみあう利用者があるとは考えられません。また「利用されるように誘導す



若草公園駐輪場。南側はわりと利用があるが、北側はご覧のとおり空が...

る」ということにも問題があります。

まだ問題が...

「ドアツウドア」という自転車の特性から、例えば1000台の駐輪場を必要な場所に10カ所つくるほうが有効です。

「将来は有料化」ということになれば、利用する人は激減することは必至であり、放置自転車の増加につながりかねません。設備投資や借地費用が妥当であるか、契約の更新が不可能な場合や不測の事態での撤去費用など、疑問が残ります。

もっと関係者の意見もよく聞いて、検討・決定しても遅くない事業です。



日ごろの「こま

6月19日 「植栽で車が見えない。何とかしてほしい」と要望が寄せられました。堤県議といっしょに、自治会長と現地調査しました。現地調査のなかで、側溝やのり面の樹木の問題などの要望も出されました。



坂上の車が見えん!

日本共産党と広次

今でも口数が少ないほうだと思えます(笑)が、割りと発言できるようになったのは、中学生のころかも...。日本共産党を初めて意識したのは、高校のクラブ活動のときに見る事務所でした。当時、お世辞にも「きれい」とは言えない事務所で、「お金がないのかな」と思った記憶があります。大学にすすみ、政治団体に出会います。(続)